

資料 8 - 1

議案第 3 号

令和 2 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

武豊町地域公共交通活性化協議会

平成 2 1 年 4 月 3 0 日設置

フィーダー系統 令和元年 6 月 2 6 日 確保維持計画策定等
（令和 2 年 5 月 2 8 日 系統キ〇程変更に伴う変更申請）

直近の第三者評価委員会 における事業評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
<p>●令和元年度二次評価 評価できる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)計量計画研究所が主催する第12回MM技術講習会において、住民との連携による利用促進事業が優良事例として認定され、事業発表を実施していることが確認できました。 ・町内バス路線のGTFS化や、名鉄河和線「青山駅」(半田市内)への乗り入れの実施について評価します。 <p>期待する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィーダタクシーについては、タクシー運行拠点からの便とするなどの見直しが必要と考えます。 ・高齢者に対する周知を強化し、利用促進に繋げていくことを期待します。 	<p>●事業の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月に南部青ルート延伸や接続タクシー制度の開始などの事業見直しを行った。 (詳細は、3・4ページ参照) <p>●次期計画の策定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民団体である生活の足を考える会と協力して、次期計画の策定に向けた住民ワークショップを開催し、バス路線網の見直しやバスを補う交通手段の検討を行う。 <p>●高齢者への周知について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の運転免許証の自主返納者と70歳以上の高齢者を対象に無料乗車券の交付を行い、申請時に併せてバスの利用方法の説明で利用促進に繋げた。 	<p>●地域公共交通計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民ワークショップを通して、意見徴収等を行い、バス路線の見直しなどを含めた令和4年度以降の「武豊町地域公共交通計画」の策定を行う。 <p>●PDCAの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武豊町地域公共交通会議を定期的で開催し、事業の進捗状況を確認する。随時事業の見直しを行う。
<p>●令和3年度二次評価 令和4年2月頃報告(予定)</p>	<p>●指摘をふまえて更なる検討・利用促進事業の実施</p>	<p>●武豊町地域公共交通計画の策定に向けた事業実施</p>

■ 地域の特性と背景

● 地域特性・公共交通問題

- 名鉄河和線の3駅、JR武豊線1駅の鉄軌道があるが、路線バスはない
- 住民から公共交通サービスの提供に対する要望、公共交通空白問題を抱えていた

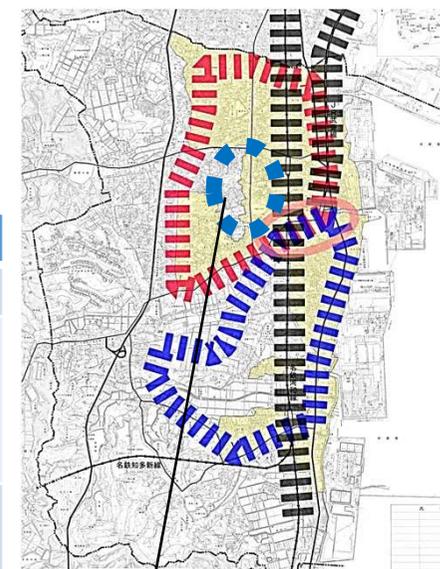
● 地域公共交通の取組経過

- H22/3 地域公共交通総合連携計画を策定
- H22/7 コミュニティバス試行運行開始
- H23/9 事前予約制バス(タクシー)運行開始
- H27/4 武豊町地域公共交通網形成計画策定、H27.10路線見直し
- H30/10 広域交通網の整備のため北部赤ルートを青山駅に延伸し、半田市の交通網と接続
→延伸に伴う利用者増により乗降に時間がかかるようになり遅延が常態化することとなった
安全な運行体制の確保と利用者層の拡大を目的に令和元年10月より見直しを実施
- R01/10 ・運行時間変更及び便数変更 ・南部青ルート延伸
・高齢者無料乗車券の交付 ・乗合タクシー事業から接続タクシー事業に変更

■ 計画の将来像及び期間

- 武豊町地域公共交通網形成計画の将来像
 - お年寄り等が、安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足の確保
- 計画期間 平成27年度～令和3年度(7カ年)総合計画の計画期間

対象機関(モード)	サービス内容
骨格鉄道(黒)	広域の移動や、武豊町内の移動を担う。
武豊町コミュニティバス (北部赤ルート幹線) (南部青ルートフィーダー)	幹線的バスとして、武豊町コミュニティバスを設定し、主に市街化区域内の移動や商業施設・医療施設等への移動を担う。
接続タクシー (～R01.10乗合タクシー)	コミュニティバスでカバーできないエリアに、路線型サービスを提供し、町内の移動を担う。



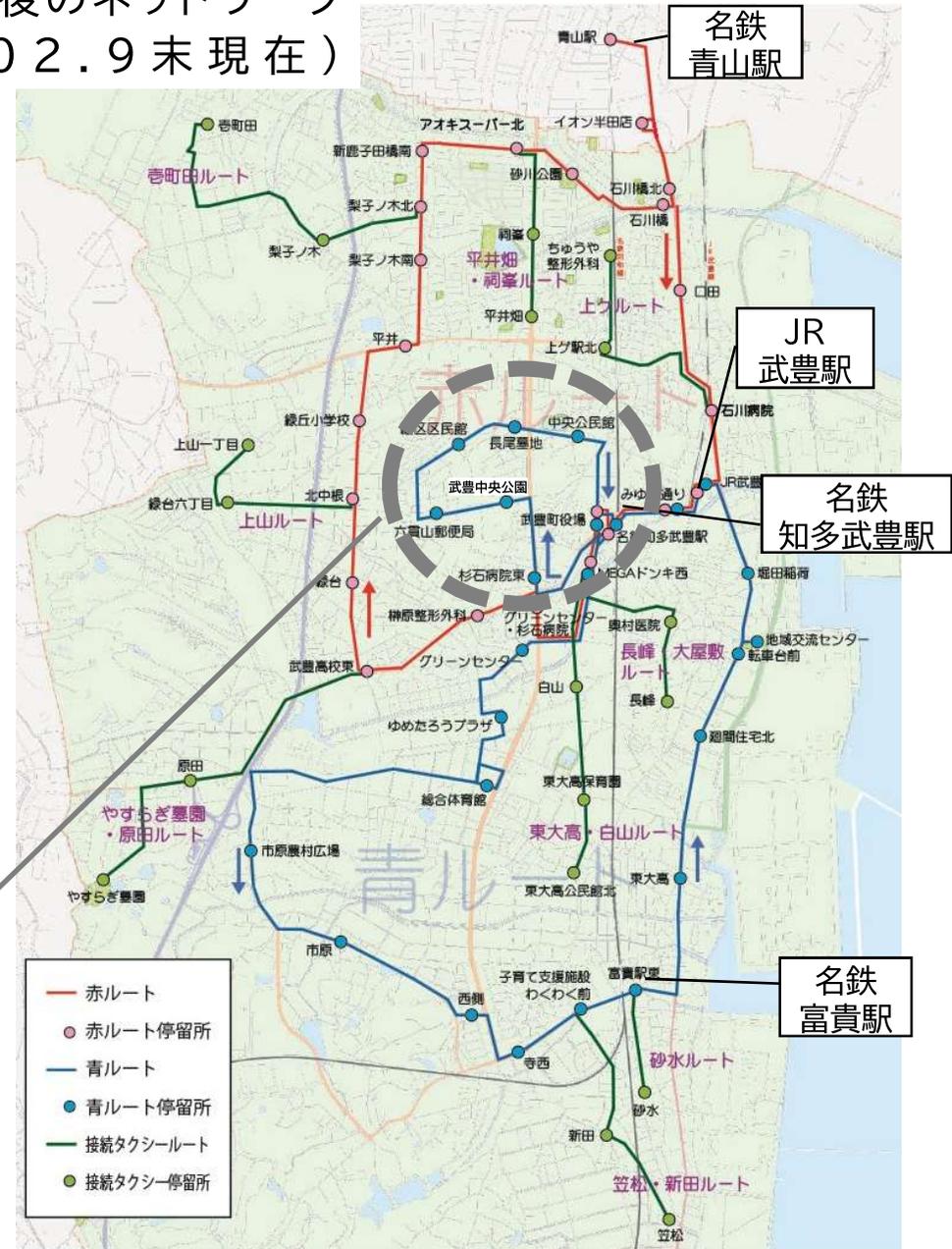
南部青ルート延伸箇所

■ 公共交通ネットワークイメージ

再編前



再編後のネットワーク
(R02.9末現在)



R01.10事業変更点

- 周回時間の変更 日あたり便数11便⇒9便
- 南部青ルート延伸
 - ・杉石病院東 ・南中根(R02.7「武豊中央公園」に変更)
 - ・六貫山郵便局 ・緑区区民館 ・長尾墓地 ・中央公民館
- 乗合タクシーから接続タクシーに変更
乗合事業から乗用タクシー事業への補助に切り替え
- 高齢者無料乗車券交付
65歳以上の運転免許証の自主返納者と70歳以上の申請者に対し、バス・接続タクシーの無料乗車券交付

事業名	事業概要	令和2年中の実施事業
武豊町コミュニティバス事業の継続・見直し	幹線的バスの「武豊町コミュニティバス」の継続運行と路線・ダイヤ等の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○周回時間の変更 日便数11便⇒9便 ○南部青ルート延伸 ○高齢者無料乗車券交付 (詳細4ページ参照)
事前予約制バス(タクシー)事業見直し・接続タクシー事業	「事前予約制バス(タクシー)」事業の見直しに伴う、接続タクシー事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ○乗合タクシーから接続タクシーに変更 ○高齢者無料乗車券交付 (詳細4ページ参照)
意識転換を促すMMアプローチ事業の実施	公共交通を活用する生活スタイルへの意識転換を図るための住民への各種アプローチ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園での乗り方教室の実施 ・65歳以上の運転免許証の自主返納者と70歳以上の高齢者へ無料乗車券交付 ・GoogleMapsなどへの情報提供を目的としたGTFSデータの作成・公開
地域協働推進事業(利用促進事業)	住民自らが考え、主体的に実施する利用促進事業。また、活動を支援するための環境づくりを実施	<ul style="list-style-type: none"> ・住民団体「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会」と連携した次期計画(武豊町地域公共交通計画)策定に向けた住民ワークショップの開催



【住民ワークショップの開催について】
 R02.7 地域公共交通の必要性を確認し、バス路線の要望を確認
 R02.8 バス路線を補う交通手段の検討
 R02.9 地域公共交通が住民の「生活の足」として機能するための検討
 (今後の予定)地区ワークショップ R02.11・R03.1
 住民ワークショップ R03.2・R03.5・R03.7
 ⇒・次期路線網の検討 ・計画の目標検討 ・バスを補う交通手段の検討



●武豊町地域公共交通網形成計画における評価に係る事項(H27.4.1計画策定)

	事業名	評価指標と目標値	評価の方法・ポイント
運 行 事 業	○武豊町コミュニティバス事業	<指標1> ○路線別利用者数の推移	○利用の低い路線の事業改善を行うため、路線別の利用状況を確認する。 ○住民の理解を得て事業継続を行う必要があるため、全体事業費に占める財政支援額の推移を確認する。
	○事前予約制バス(タクシー)事業 ⇒R01.10～ 接続タクシー事業	<目標値> ○対前年比プラス <指標2> ○財政支援額の推移 <目標値> ○現状の支援額以下	

<ネットワーク全体の目標設定と利用実績評価>

令和2年度 (R01.10～R02.9)	H30年度 実績	R01年度 実績	R02年度 確保改善 計画目標	R02年度 実績	形成計画 目標	達成 状況
幹線系統 赤ルート	40,655人	49,230人	46,000人	39,436人	前年比増	未達成
フィーダー系統 青ルート	15,897人	19,255人	17,900人	22,138人	前年比増	達成
バスネットワーク全体	56,552人	68,485人	63,900人	61,574人	前年比増	未達成
乗合タクシー (R02～接続タクシー)	1,078人	991人	未設定	505人	前年比増	未達成

●目標値についての評価

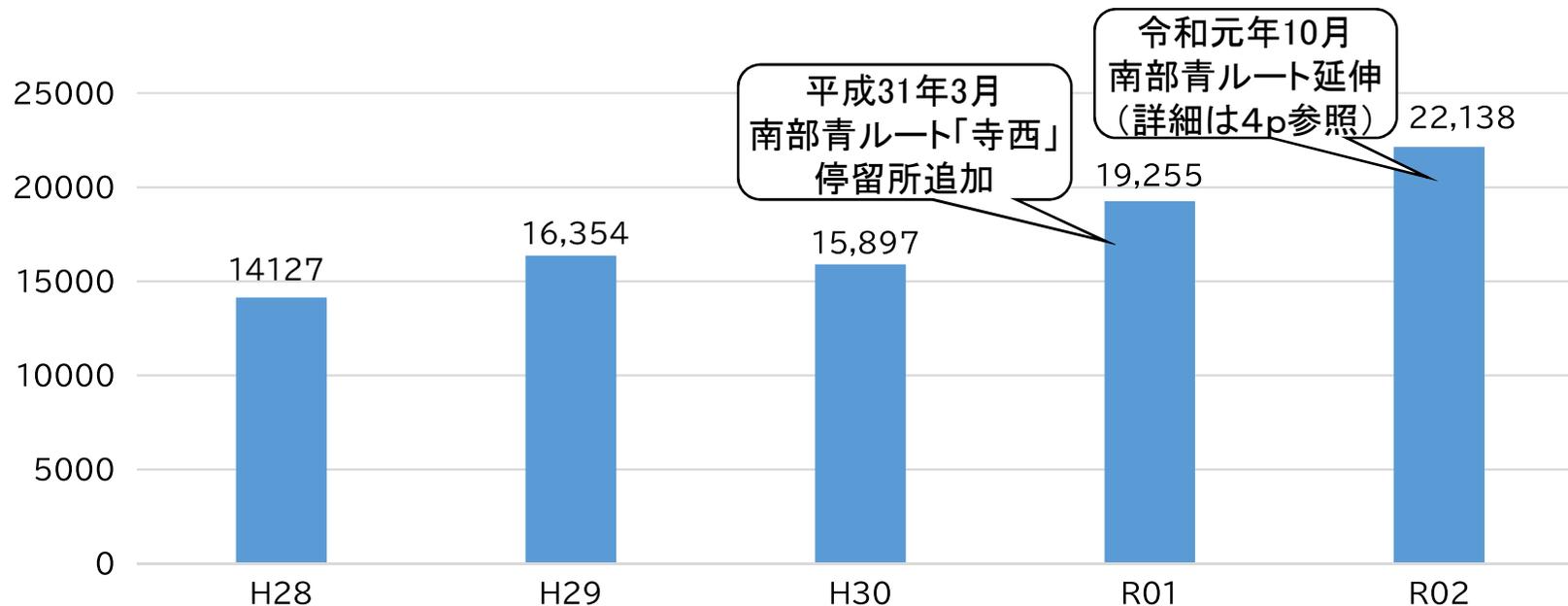
- 地域公共交通網形成計画での目標では、路線別の利用者数の推移を対前年比プラスとしているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により幹線系統赤ルートとバスネットワーク全体は、目標未達成となったが、令和元年10月から令和2年2月までの期間においては、3,365人増加している。また、令和元年10月の南部青ルートの延伸や高齢者無料乗車券交付事業の利用促進事業により、フィーダー系統青ルートの利用者数は対前年比で増加しており、目標を達成している。

● 評価結果を受けての考察

- 半田市と連携した広域な地域公共交通網の整備や住民要望に伴う停留所の新設・延伸等により、地域の生活の足として利用されており、運行面でも年間を通して、運行を継続できている。
- 指名競争入札による事業者選定(3年契約)の結果及び路線延長により運行経費の増加に加え、高齢者無料乗車券交付事業により運賃収入が減少したため、町の財政負担は増加しているが、利用サービス水準の向上を図る取り組みをしている。
- タクシー事業の見直しにより事前登録制度とし、利用の仕方の説明を行うなどの利用促進を図ったが、増加には至らず、目標に対しては未達成となった。今後は、交通空白地をなくす施策の検討として、地区ワークショップ等を開催し制度の周知・事業の見直しを行う。

(参考)南部青ルートの利用者数の推移 ※平成27年10月の路線再編後(運輸局年度28年度～)

住民要望の対応による停留所の追加・路線の延伸により、利用者数は増加傾向にある



<自己評価から得られた課題>

1)目標達成状況に関する課題

- ・フィーダー系統の利用者数はルートの延伸等により増加しているものの、バスネットワーク全体で見ると新型コロナウイルス感染拡大に伴い利用者数が減少している
※令和元年10月～令和2年2月における利用者数は対前年同期間比で3,365人増加している

2)公共交通ネットワークに関する課題

- ・接続タクシーの利用者が減少しているため、周知の徹底・制度の再検討を行う必要がある

3)公共交通の維持に関する課題

- ・網形成計画の将来像の「お年寄り等が、安全に暮らせ、気軽に移動できる生活の足の確保」の実現を図るためには、高齢者等が安心して利用できるようなPRが不足している

<課題をふまえた対応>

1)目標達成状況に関する課題への対応

- ・住民ワークショップを通してバスネットワークの周知を行い利用促進に努めた
- ・感染症対策チラシ等の車内掲示により安心な利用環境の整備に努め運賃収入の増加を目指す

2)公共交通ネットワークに関する課題への対応

- ・住民ワークショップや地区ワークショップでの意見徴収により、現事業の契約期間満了後(R04.10～)の制度の見直しを検討
- ・形成計画の計画期間到達に伴う「武豊町地域公共交通計画(仮)」(令和4年度予定)作成

3)公共交通の維持に関する課題への対応

- ・70歳以上の高齢者と65歳以上の運転免許証の自主返納者を対象とした無料乗車券交付時においてバス等の利用方法を説明

● バスナビゲーションサービスの提携（町事業）

- 武豊町コミュニティバスのダイヤや停留所の位置情報がインターネット上でナビゲーションサービスを提供しているサイト「ナビタイム」「ジョルダン」「駅すぱあと」より検索できるよう整備している。

<ナビタイム携帯画面>

番号	停留所名	時刻表	バス乗換案内
1	武豊町役場	時刻表	バス乗換案内
2	名鉄知多武豊駅	時刻表	バス乗換案内
3	ピアゴ西	時刻表	バス乗換案内
4	グリーンセンター（愛知県）	時刻表	バス乗換案内
5	ゆめたるうプラザ	時刻表	バス乗換案内
6	総合体育館（愛知県）	時刻表	バス乗換案内
7	市原農村広場	時刻表	バス乗換案内



● Google Mapsへの情報提供の整備（町事業）

- 令和元年10月に実施するダイヤ改正に合わせて、Google Maps上での情報検索が可能となるよう、GTFSデータを作成

● はじめてのゆめころん（町事業）

- 町内保育園を対象にバスの出張訪問を実施し、安全なバスの乗り方に関する教育等を行う。

● 住民ワークショップの開催（住民団体事業）

- 武豊町地域公共交通網形成計画の終期に伴う、次期計画（武豊町地域公共交通計画）の策定に向け、住民団体である「武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会」が主催で町と連携しながら住民ワークショップを行う。

【検討内容】・バスルートの見直し検討

- ・バスを補う交通手段の検討
- ・新しい公共交通計画の「目標」の設定



● 平成30年度・令和元年度・令和2年度 日本モビリティマネジメント会議ポスター展示

- 武豊町と住民団体である生活の足を考える会との協働の取組について紹介